Doc.No.	AUT051U-00

yamada

取 扱 説 明 書

ハンドインフレーター

型式：HTI-D　　MODEL No.854304
型式：HTI-A　　MODEL No.854305

⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用の前には必ずこの取扱説明書をよく熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。 また、本取扱説明書をいつでも使用できるように大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

1. はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本製品は、軽自動車・普通自動車及び大型車両を対象としたタイヤ用ハンドインフレーターです。
HTI-D はデジタル式、HTI-A はアナログ式です。

2. 使用上の注意事項

⚠ 注意

- 本製品には、最大 1.5MPa までの清浄なエアを供給してください。ご使用のコンプレッサーの性能が 1.5MPa(1500kPa)以上の圧力を持つ場合は、必ず減圧弁を使用し 1.5MPa 以下に減圧してください。
- 自動車のタイヤ専用のエア充填機ですので、エアタンク等の充填に使用しますと故障の原因になります。
- エアホースに亀裂や穴等が生じた場合、供給エアによりホースが暴れ、物的損害や使用者に怪我を負わせる原因となります。日常点検を行い、エアホースに亀裂や穴等があれば、最寄りの販売店、又は弊社営業所に注文してください。
- 本製品は測定器です。乱雑に取扱ったり、物をぶつけたりしますと、衝撃により正しいエア圧の充填が行えなくなります。取扱いには充分注意してください。
- 夜間・休日など長時間使用しないときは、エア源を切り本製品へのエア供給を止めておいてください。

3. 各部の名称

4. 使用方法

＜HTI-D のみ＞

1) ハンドインフレーターからカバーを外してください。(Fig. 1)

Fig. 1

2) 電池部にある保護シートを引張って取外してください。(Fig. 2)

Fig. 2

＜HTI-D・HTI-A＞（写真は HTI-D）

3) エアカプラーとコンプレッサーからのエア供給ホースを接続し、減圧弁にて一定に調整したエアを供給してください。
（供給する最大エアは、圧力 1.5MPa です）
4) エアホースのタイヤチャックの口金を、充填しようとするタイヤのエアバルブに垂直に押し当てて、タイヤへセットしてください。
5) レバーを握りますと充填を開始します。(Fig. 3)
（握っている間の圧力表示は“0”のままです）
6) 充填しすぎた場合には減圧用ボタンを押して、タイヤ内の圧力を減圧してください。(Fig. 4)
（減圧用ボタンを押している間の圧力表示は“0”のままです）
7) タイヤの圧力が希望の圧力になりましたら、レバーを離してください。

Fig. 3

Fig. 4

＜NOTE＞

液晶画面は供給エアを接続するとすぐに点きます。
使用後 20 秒経ちますと、自然に画面が消えます。

5. 保守

1) エアホース・O リング類は消耗品です。定期的に点検し、傷・摩耗などがある場合は早めに交換してください。
2) 使用前に各ネジ部の緩みがないか確認してください。（ネジ部は締めすぎると破損しますので注意してください）

＜HTI-D のみ＞

3) 夜間・休日など長時間使用しないときは、電池を本製品より外して保管してください。
4) 液晶画面に“Lo”の画面が表示されたら電池の交換時期です。速やかに交換してください。
（コイン形リチウム電池：CR2450）

6. スペック

		HTI-D	HTI-A
寸法（本体）	長さ	240mm	
	幅	110mm	
	質量	0.35kg	0.36kg
エアホース(チャック付)	長さ	1800mm	
操作環境	使用温度	-20℃～60℃（結露しないこと） ※	
	保管温度	-30℃～80℃	
電気規格	電圧	2.6V～3.6V	-
	電池	リチウム電池　CR2450	-
	電池寿命	約950h以上	-
測定	精度	0～ 400kPa：±8kPa 401～1000kPa：±16kPa	
	使用範囲	1～1000kPa	
	充填空気量	910L/min（一次圧:1300kPa時）	
付属品		PSカプラー（684760：20PM）	

※0℃以下の低温時には、液晶機能限界を超えるため見にくくなることがあります。

7. ハンドインフレーターを安全にご使用いただくために

整備時の注意事項

1) タイヤ破裂の危険がありますので、コンプレッサーの調節弁はタイヤの使用空気圧に応じ、次表により正しく調整してください。

■コンプレッサー調節弁の最高調節空気圧

タイヤの使用空気圧区分	調節弁の最高調節空気圧
400kPaまで	500kPa
400kPa超 ～ 600kPaまで	700kPa
600kPa超 ～ 1000kPa未満	1000kPa

2) 破裂の危険を避けるため、タイヤを安全囲いの中にいれる等、安全措置を講じた上、空気を充填してください。
3) 自動車用タイヤの組立て時のビードシーティング圧は、300kPa とし、これを超える圧は注入しないでください。ビードシーティングとは、タイヤ組立て時にタイヤの両側のビードがリムのビードシート部に周上均等にのった状態（ハンプ付リムは、ビードがハンプを越えた状態）をいいます。
4) 異常振動、騒音の防止およびタイヤの寿命を伸ばすため、位置交換（ローテーション）を適宜実施してください。また、異常振動・偏摩耗を防止するために、ホイールバランスは必ず調整してください。
5) タイヤのリム組時には、エア漏れがないことを確認してください。
6) タイヤサイド部に回転方向または取付方法等の指定があるタイヤは、その指定通りに正しく装着してください。
7) タイヤを車両に装着したときは、車体と接触するおそれがないか、必ず確認してください。
8) 小型トラックの複輪外径差は、ラジアルタイヤは 6mm 以内、バイアスタイヤは 8mm 以内の許容範囲内であることを確認してください。
9) 取付ナットは、推奨トルク（M12 で 90N･m～120N･m、M10 で 50N･m～70N･m）で締めてください。取付ナットの締め過ぎはボルト穴やハブ穴の変形、及びボルト破損などが発生することがあります。締め不足は、ナット緩みの原因となります。

労働安全衛生規則

1) 自動車タイヤの組立て時に係る業務のうち、空気圧縮機を用いてタイヤに空気を充填する業務に従事する労働者に対し、「特別講習」を実施すること。
2) コンプレッサーの空気取出し口も「圧力調整弁」を設けること。
3) 破裂したタイヤなどの飛来を防止するため、「安全囲い等」を設けること。

※ 上記に違反した事業者に対しては、労働安全衛生法第 119 条の罰則が適用され、6 ヶ月以下の懲役又は 50 万円以下の罰金が科せられます。

製品に対するお問い合わせは、下記営業所にお願い致します。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143-8504	東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL(03)3777-4101(代)	FAX(03)3777-3328
札幌営業所	〒062-0002	札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号	TEL(011)821-0630(代)	FAX(011)821-0949
仙台営業所	〒983-0034	仙台市宮城野区扇町 2 丁目 2 番 44 号	TEL(022)232-4743(代)	FAX(022)232-4756
東京営業所	〒143-0025	東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL(03)3777-3171(代)	FAX(03)3777-6770
名古屋営業所	〒463-0052	名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号	TEL(052)795-0222(代)	FAX(052)795-0444
大阪営業所	〒537-0025	大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号	TEL(06)6971-5301(代)	FAX(06)6974-0497
広島営業所	〒733-0833	広島市西区商工センター5 丁目 3 番 5 号	TEL(082)278-5341(代)	FAX(082)278-5310
福岡営業所	〒816-0088	福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号	TEL(092)581-5477(代)	FAX(092)581-6524
相模原工場	〒229-1112	神奈川県相模原市宮下 1 丁目 2 番 38 号		

YAMADA AMERICA Inc.	955 E. Algonquin Rd. Arlington Heights, IL 60005, USA.	TEL 1-630-231-4083
YAMADA EUROPE B.V.	Aquamarijnstraat 50-7554 NS Hengelo(O), The Netherlands	TEL 31-0-74-242-2032
雅玛达(上海)泵业贸易有限公司	上海市浦东新区张扬路 620 号 中融恒瑞国际大厦东楼 1004 室	TEL 86-21-6160-4788

200903 AUT051U